

科目名	日本事情		英文表記	Japanese Circumstances		2016/3/31	
科目コード	4013						
教員名: 島袋 政和 技術職員名:						作成	
対象学科/専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
留学生	4年	選	履修	1単位	講義	前期	
科目目標【MCC目標】	母国で自国の文化や歴史、経済、政治等を学んできた学生達にとって、「日本事情」を学ぶことは母国の文化や政治等を振りかえる格好な機会だと思われる。本校で学ぶ留学生の出身は数カ国にまたがる。授業の中で、それぞれの母国の文化等をディスカッションし、意見を発表することによって、日本や互いの国の諸事情の類似点や相違点に関心を寄せ、理解し合えるよう努める。【Ⅲ-c】						
総合評価	前期評価: 1回の口頭発表と5回のレポートを課し、期末試験を含めて総合評価する。尚、口頭発表(20%) + レポート(30%) + 期末試験(50%)の割合で前期評価を行う。						
科目達成目標とJABEE目標との対応	目標割合	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)	達成度目標の評価方法	ルーブリック			
				理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限必要な到達レベル(可)	セルフチェック
	40%	① 講義の内容は日本の歴史・文化・人口等の重要なテーマにしている。基本的な知識を理解できることに努める。	テスト・レポート・ディスカッション等によって評価する	各分野をよく理解し分析力に優れている。	各分野をよく理解できる。	基礎的な漢字を理解し、基本文型で文章が書ける。	
	30%	② 資料やデータを提示し、ディスカッションやレポートで理解を深める。	テスト・レポート・ディスカッション等によって評価する。	各分野の重要な課題を見出して理解を深める。	各分野の用語の適切な使用や基本的な課題を見出す。	例えば、東京や京都の位置や憲法の基本的な原理を理解できる。	
30%	それぞれの母国の課題についてディスカッションを通して、類似点や相違点を見出し、互いに理解を深める。	テスト・レポート・ディスカッション等によって評価する。	各分野の課題を指摘し、問題の要因や究明方法に意欲的な姿勢が窺われる。	各分野の基本的な知識を深めていて、ディスカッションでも意欲的に発言する。	ディスカッションを通して意欲的な学習態度がうかがわれ、基本的な用語もよく理解している。		
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEE プログラム名称		
	○	◎		○	JABEE プログラム教育目標		
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実践・成果物)	総合評価	セルフチェック
評価項目		50	0	30	20	100	
基礎的理解		25		15	10	50	
応用力(実践・専門・融合)		25		15	10	50	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)						0	
主体的・継続的学修意欲						0	
授業概要、方針、履修上の注意	<p>① 留学生の目に映るものは全て初めての体験であると思われる。この中から、日本の文化や歴史に留まらず、日本の人口減少とかデフレ、選挙などに関心を寄せることも想定される。このため、ごく限られた時間ではこれらの事柄について理解を深めることは困難な面もあると思われるが、「日本の事情」には欠かせないものと考え留学生達が理解を深められるよう努める。</p> <p>② 日本と地元沖縄の歴史・文化等について理解を深め、互いの母国の事情を振り返りながら、互いにディスカッションし発表し合えるよう努める。</p> <p>③ 授業では、できるだけディスカッションや発表を活発に活かし、「日本事情」に留まらず互いの母国の「事情」との類似点や相違点にも目を向けるよう努める。</p>						
教科書・教材	適宜資料を配付						

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習) 内容	セル フ チエッ ク
1	沖縄の戦後の歩み	2	米軍統治時代	プリント復習	
2	沖縄の戦後の歩み	2	本土復帰後	プリントレポート	
3	沖縄の産業	2	産業の特徴基幹産業等	プリント復習	
4	日本の教育	2	種々の問題	プリントレポート	
5	日本の環境問題	2	環境	プリント復習	
6	日本の環境問題	2	自然災害と環境	プリントレポート	
7	日本の地殻変動	2	地質構造等	プリント復習	
8	日本の地殻変動	2	地震活動	プリントレポート	
9	日本の農業	2	農業の特徴	プリント復習	
10	日本の農業	2	農業の実態	プリント復習	
11	日本の農業	2	農業の実態	プリント復習	
12	日本の農業	2	TPPと農業	プリントレポート	
13	沖縄の農業	2	農業の実態	プリント復習	
14	AIと産業等	2	将来のAIと人・産業等との関わり	プリント復習	
15	前期総まとめ	2	発表・討論	プリントレポート	
期末	期末試験	[2]			
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		30	実時間	22.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間	
①	授業で扱ったテーマについて発展的に調べ考察する。			各2時間×15回	
②	校外・体験学習で習得した項目に関してレポートを課する。				
③	自分で選んだテーマについて発表活動をし、レポートを課する。				
備考欄					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)